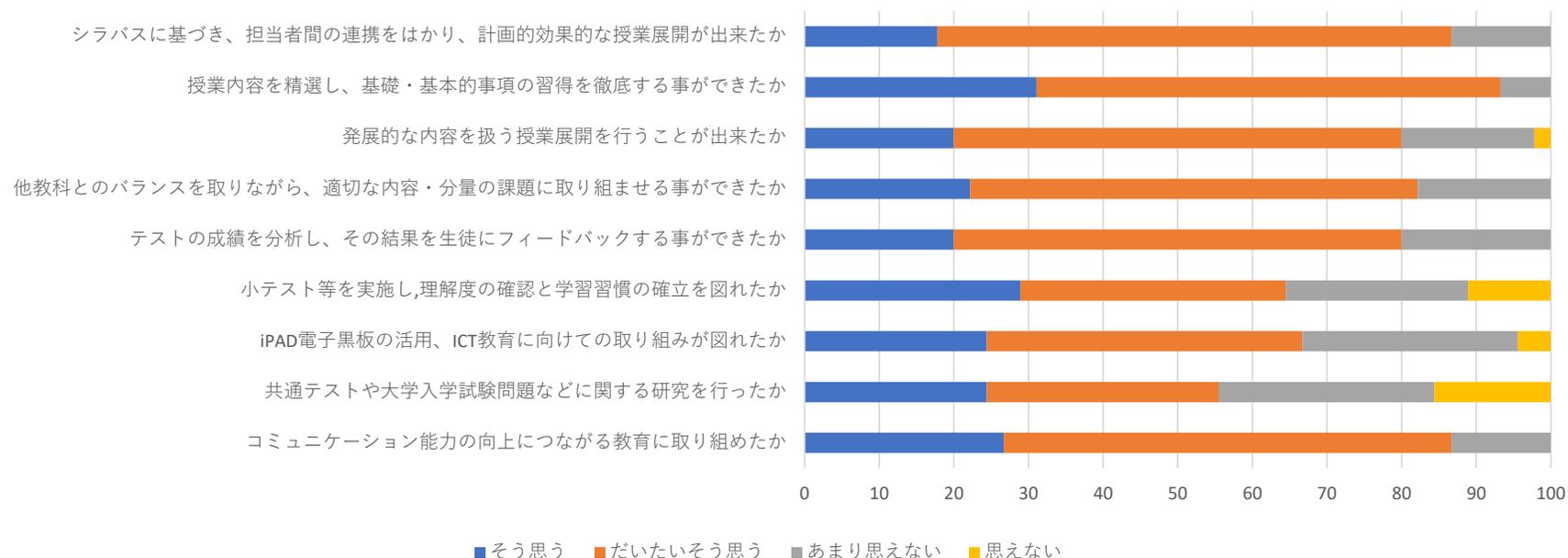


## 令和4(2022)年度 三田松聖高等学校・学校評価シート

学校 教育 目標	〈基本方針〉	
	校訓「不撓不屈、和敬協調、自律自学」の信念のもと、心身を錬磨し、優れた英知と豊かな情操を備えた、清く正しく強い、社会貢献のできる青少年を育成する。	
	1.	「知・徳・体」の調和のとれた人格形成と育成を図り、生徒が生き生き・伸び伸びと活動する活発な学校づくりを推進する。
	2.	個に応じた教育活動を展開し、基礎・基本を確実に定着させ、生徒自ら主体的に判断し行動できる資質や能力の向上を推進する。
	3.	家庭や地域との密接な連携を図ることにより、社会から信頼される学校、魅力ある学校づくりを推進する。

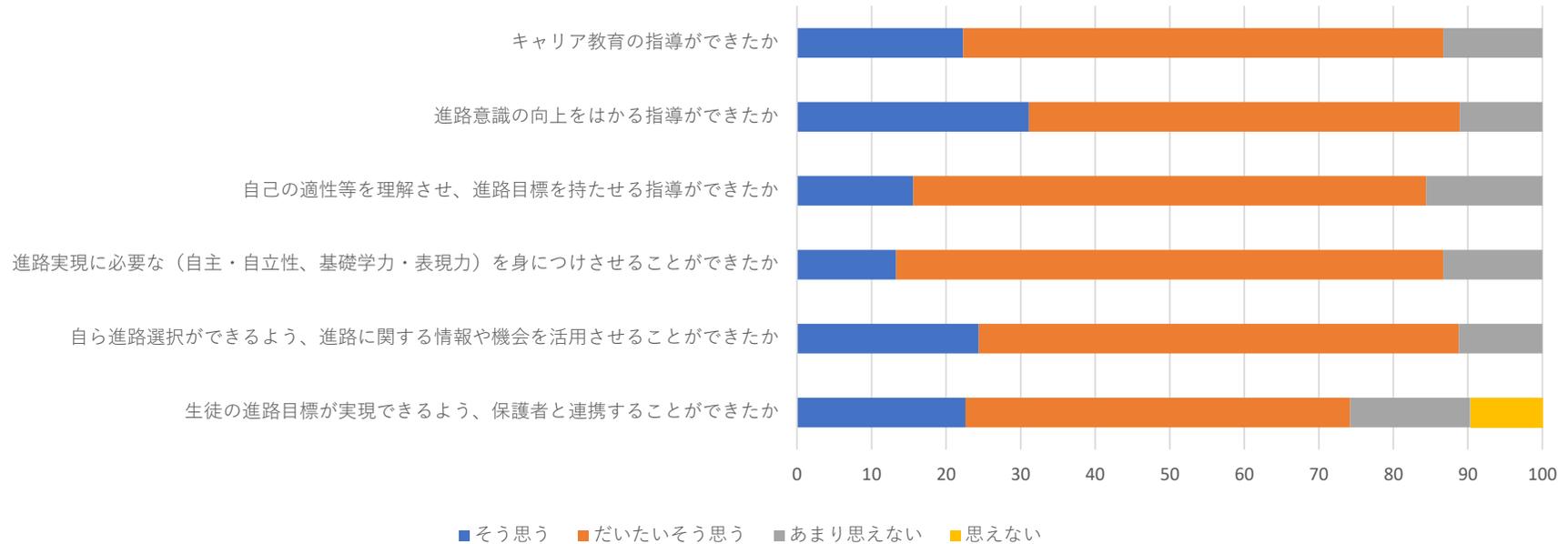
重 点 目 標	〈学校経営の重点〉	
	「教育は人なり」である。生徒に「生きる力と学ぶ力」を身につけさせるため、熱意ある教育実践と真摯なる研修を積み重ねる教師集団づくりを図り、生徒との信頼関係を構築し、学校のさらなる発展を目指す。	
	1.	教員とその組織の充実
		・教員の資質及び指導力向上
		・校務分掌の組織編成と役割分担の適正化
		・教員のコンプライアンス強化
	2.	学習環境と教育内容の充実
		・到達度別学習の重点的な取り組み
		・学力向上プロジェクトの推進
		・ICT教育の推進・情報教室の整備推進
		・能動型学習法の推進
		・図書室を有効活用し、生徒の学習意欲向上の推進
	3.	進路の充実
		・高大接続による「大学入試制度改革」への対策と検討
		・生徒の目標達成の支援
		・特別進学・大学進学コースでの「学力向上講座」の実施
		・進路実現に向けた「自己発見プログラム」の推進
		・短大・高校・幼の学園連携である保育者育成プロジェクト「保育探究クラス」の推進
	4.	部活動の充実
		・強化指定部の活性化
	・各部の活性化	
	・挨拶やマナーの向上、帰属意識の高揚、人間関係の構築、人格形成	

## 教科指導に関する自己評価



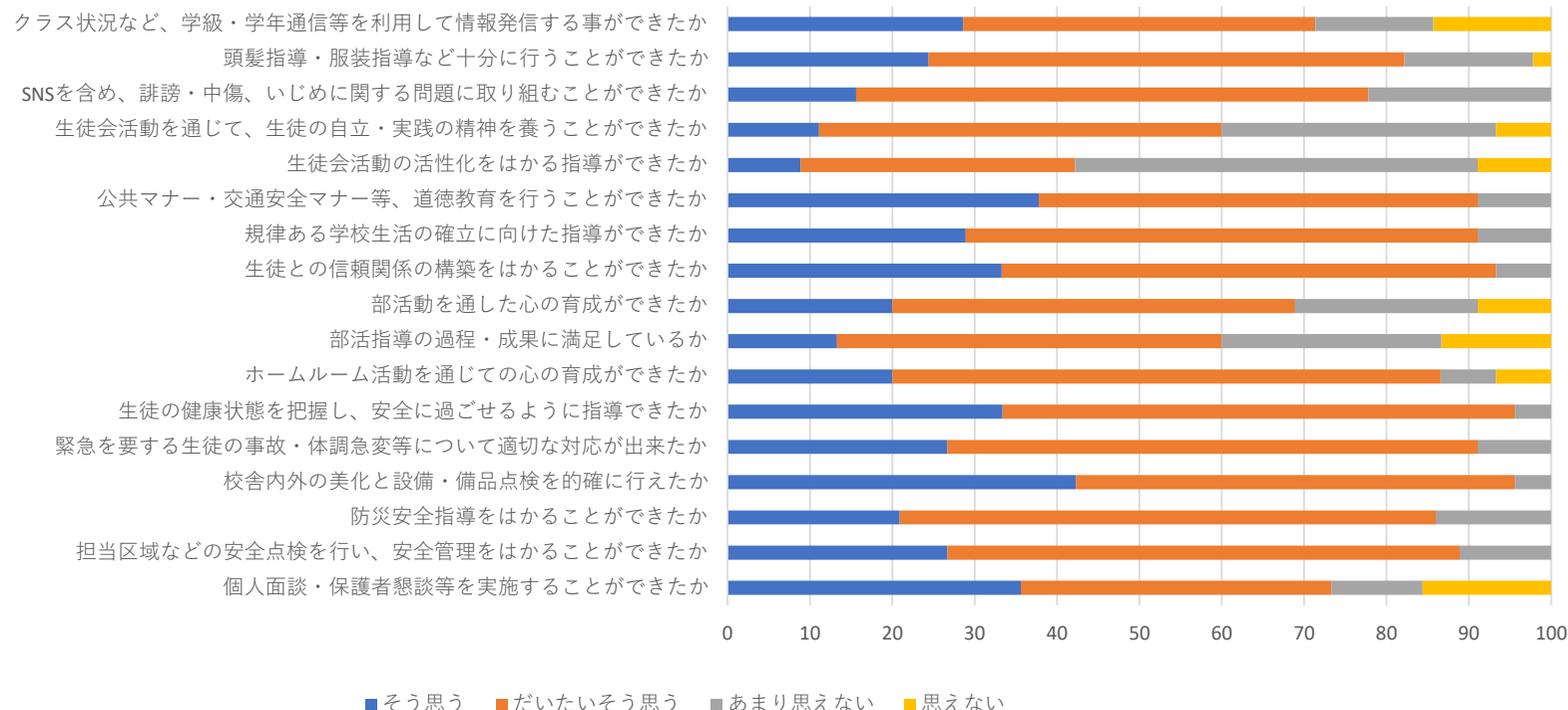
次年度への課題と改善策	学校関係者評価
<p>新学習指導要領実施による新しい教科指導の教材研究と教材選定をすすめる。</p> <p>ICT化を目指しiPadなどを活用していく流れを作っていく。</p> <p>生徒個々の学力を把握しそれに応じた課題の作成。</p> <p>何を出来るようになれば良いのかを明確にするため、そのテーマや時間内のゴールを明確にしてから展開するようにしたい。</p> <p>基礎基本を大切に授業展開から、応用問題や入試問題を扱う授業をしていきたい。</p> <p>授業スピードをあげていくことと授業内容をブラッシュアップしていきたい。</p> <p>小テストの実施回数を増やし平常の学習成果を学習評価に反映させる、定期的な確認会議を実施したい。</p> <p>進学に向かう生徒への意識レベルを上げる教育をICTを用いて行う。</p> <p>評価と指導の一体化が図れる指導の充実。</p>	<p>iPadをうまく活用して、授業の幅広い展開と内容の充実を図ってほしい。</p> <p>ICT教育の充実に向けた取り組みを引き続きすすめてほしい。</p> <p>生徒個々へのきめ細かい対応はなされているが、教師自身のスキルアップにより生徒達はさらに伸びていくと考える。</p>

## 進路指導に関する自己評価



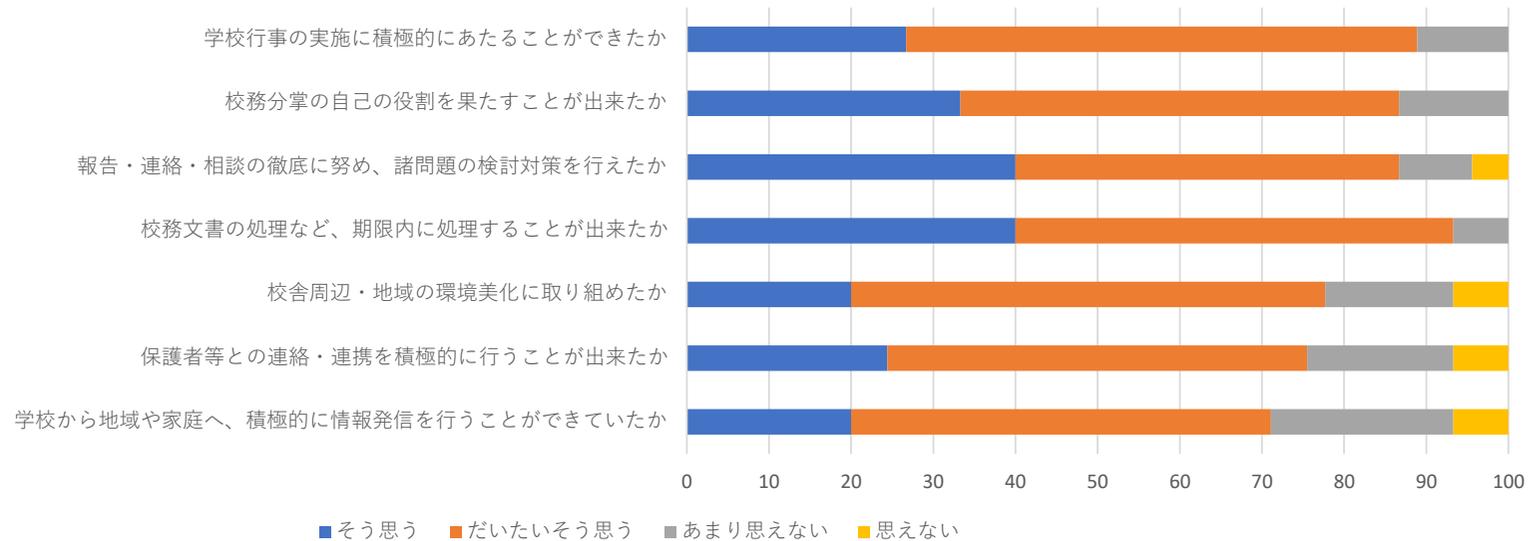
次年度への課題と改善策	学校関係者評価
<p>模擬試験のフィードバックを十分に行い、最後までチャレンジするモチベーション維持のアシストをすることが必要。</p> <p>大学進学・進学アスリート・特別進学コース向けの自己発見プログラムの計画・内容を精査し、大学進学に関する意識をさらに高める指導の工夫。</p> <p>「読解力」をつけるため、実態把握をし、全科目・全教員が能力向上の策をもとに行う。</p> <p>クラスの生徒一人ひとりの進路相談を、春の面談や三者面談の機会に多めに時間を設定して進路指導に充てたい。</p> <p>生徒の目的達成のため、具体的な学習計画を立てて進路達成を促すクラスの機運を盛り上げ、全員で勉強を頑張る雰囲気を作る。</p> <p>進学希望者は多い、第一希望合格をめざし英語検定など、計画的に取得する指導に力を注ぎたい。</p> <p>生徒は、仕事や大学のこと等まだまだ知識が足りていないと感じた。知識をつけることで選択肢が増え、より良い進路指導ができ学習への意欲の向上が期待できる。</p>	<p>卒業後の状況調査を実施することで、よりよい生徒支援へと繋がる。</p> <p>家庭学習の必要性、目的達成の意味、学ぶことと未来への繋がりを教えてほしい。家庭で話すより効果がある。</p> <p>生徒の進路目標実現のため、保護者への情報提供の徹底が大切だと思う。学校と保護者の関係作りは生徒を通じて形成されていくと考える。</p>

## 生徒指導に関する自己評価



次年度への課題と改善策	学校関係者評価
<p>コロナ禍で生徒会行事が十分に行えなかった、生徒がよ活発に活動できるよう行事の時期・方法を見直して開催したい。</p> <p>安心安全な学校生活、行事が運営できるよう感染症対策・危機管理体制の見直しをすすめる。</p> <p>多くの学校で進む校則の見直し、どう生徒指導するか、保護者の協力をどう得られるようにするか、社会で求められるマナー・資質をうまく生徒に伝えていかなければいけない。</p> <p>キャリアアップ＝進路ではなく、人間力向上に向けてた取り組みを進めるさらなる研究</p> <p>ニュースでも話題になるSNS問題の理解をさせるため、自分の行動の善し悪しを考えてさせる時間を作りたい。</p> <p>ホームルームや部活動の時間を活用して心の教育を行う余地はもったあった、その時間の確保に努めたい。</p> <p>生徒一人ひとりを大切に、生徒の変化を学年で共有し指導していきたい。</p>	<p>松聖には多くの中学校から入学している。この貴重な環境の中で豊かな人間性が育成されている。</p> <p>生徒指導の充実には、家庭の力も大きい。家庭の協力・理解を得る方策の一つとして情報をどんどん発信していくことが大事である。</p> <p>通学のマナーなどについては、温度差があり一部の生徒の行いが松聖の印象となっていると感じる。</p> <p>スマートフォンを操作しての自転車運転は大変危険であるため、注意を促してほしい。</p>

## 総務的なことに関する自己評価



### 次年度への課題と改善策

コロナ禍で地域との連携が十分とれなかった、できることから地域との関わりを取り戻したい。  
 各業務で各自のすべきこと・出来ることの幅を広げ、学校運営に貢献する。  
 校舎内外の安全チェックと美化の徹底をはかる。  
 生徒、保護者、地域など多くの人に学校の魅力を伝える情報発信をさらにすすめたほうが良い。リアルタイムの発信は生徒の安全面などを考えて発信してほしい。  
 生徒も職員も安心安全に学校生活を送れるよう行事運営のサポートに努めたい。  
 生徒も職員も自らの身体と心の健康を考え、心身と向き合えるような環境作りに取り組みたい。

### 学校関係者評価

文化祭では生徒達が生き活きとして一生懸命頑張っていて気持ち良かった。  
 地域の方々との交流や情報発信をすることで、学校の印象が変わると思う。  
 後援会がきちんと運営されているため、後援会から地域へと情報を発信いただくことで、松聖のサポーターが増えると思う。